

経営比較分析表（令和4年度決算）

福井県公立小浜病院組合 小浜病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	ド透I訓ガ	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	32,339	-	第2種該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
296	50	8
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	2	456
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
271	34	305

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

嶺南若狭地域唯一の総合病院であり、救命救急センターとして救急医療を担い、高度急性期から急性期、回復期、慢性期病床と、感染症、結核、精神病床まで、幅広い医療提供体制を確保している。
また、新興感染症への対応や小児、周産期、災害、へき地医療など、地域における医療提供体制を維持している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度からの新型コロナの影響が続き、病床利用率【④】は低下したものの、経営改善の取り組みや新しい治療薬の導入などにより医療収支比率【②】は改善した。
令和2年度、3年度に引き続き、補助金により経常収支比率【①】は100%を超え、累積欠損金比率【③】は更に減少した。

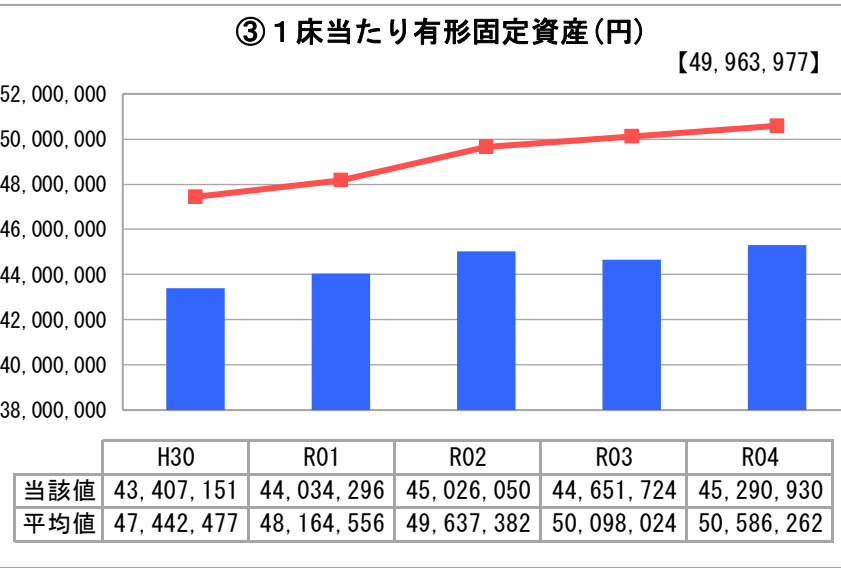
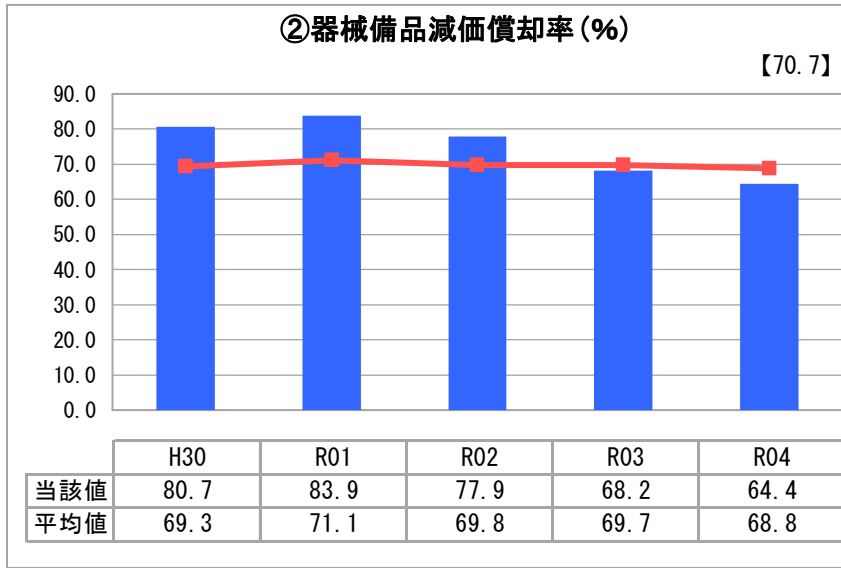
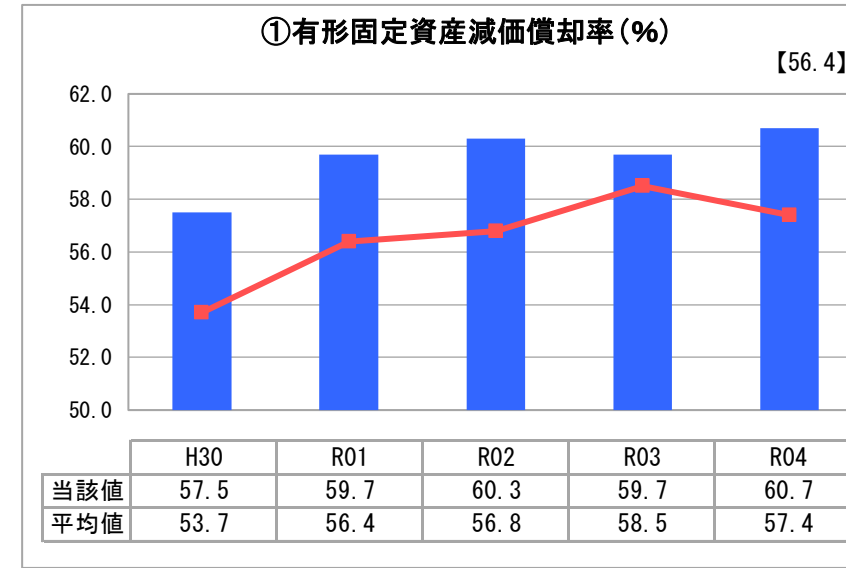
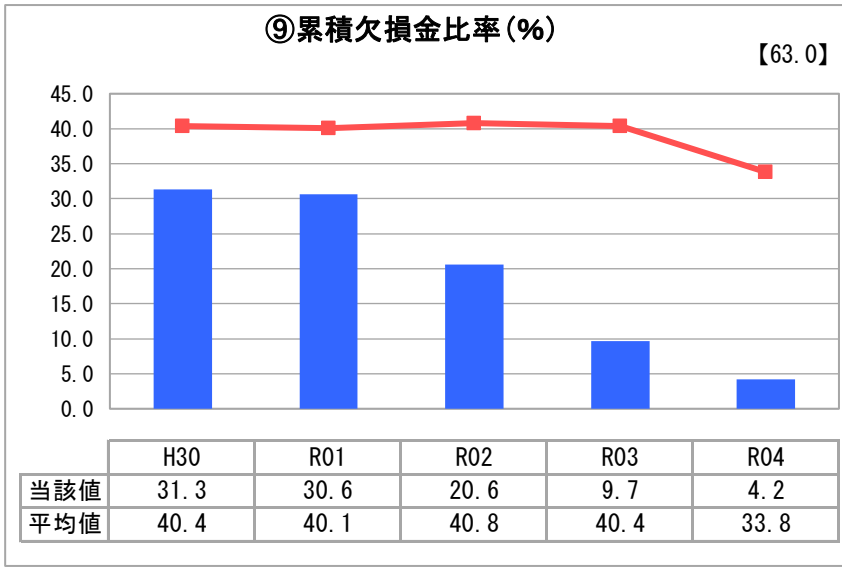
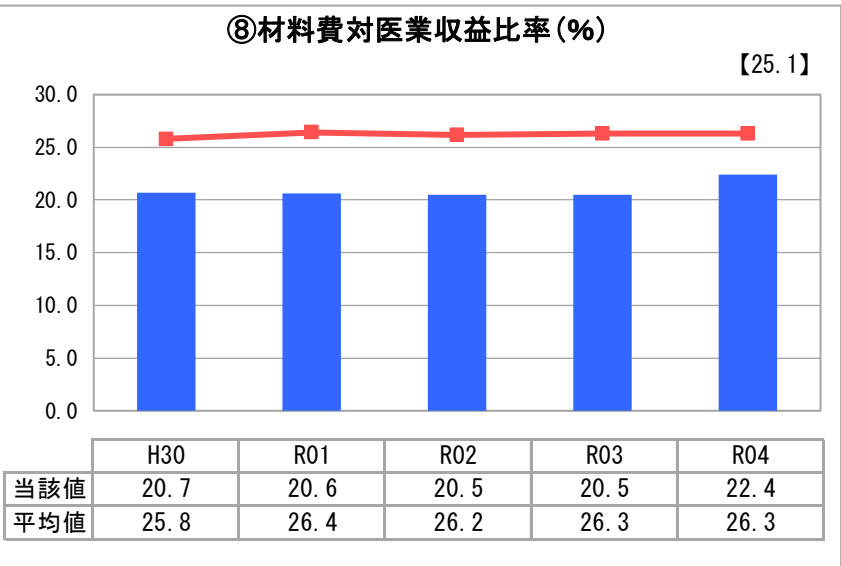
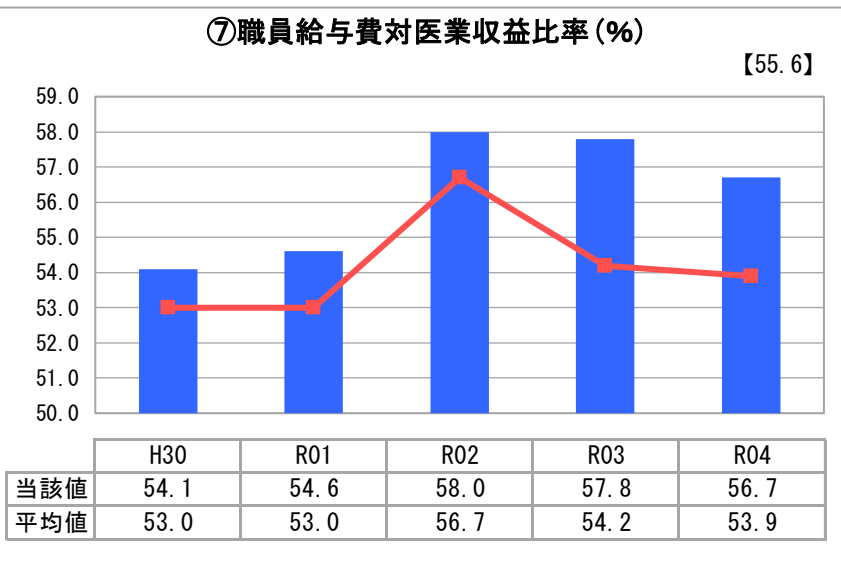
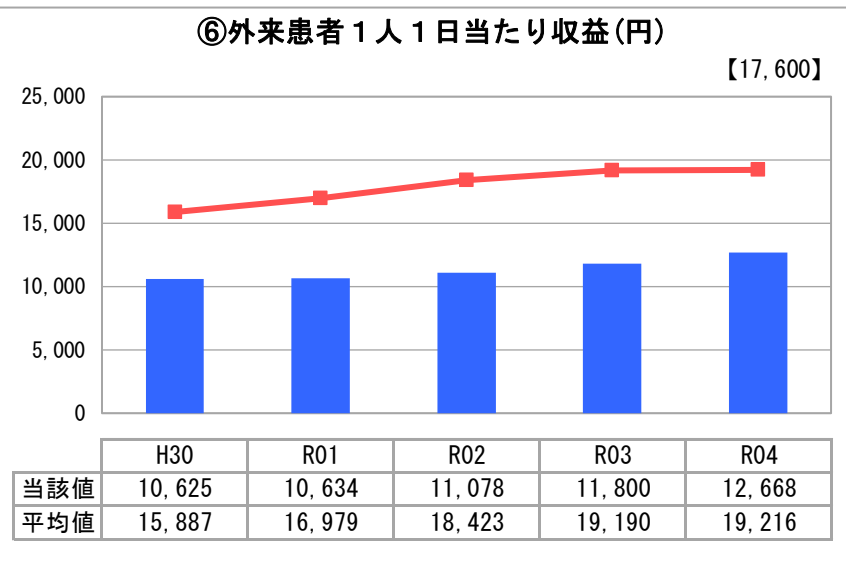
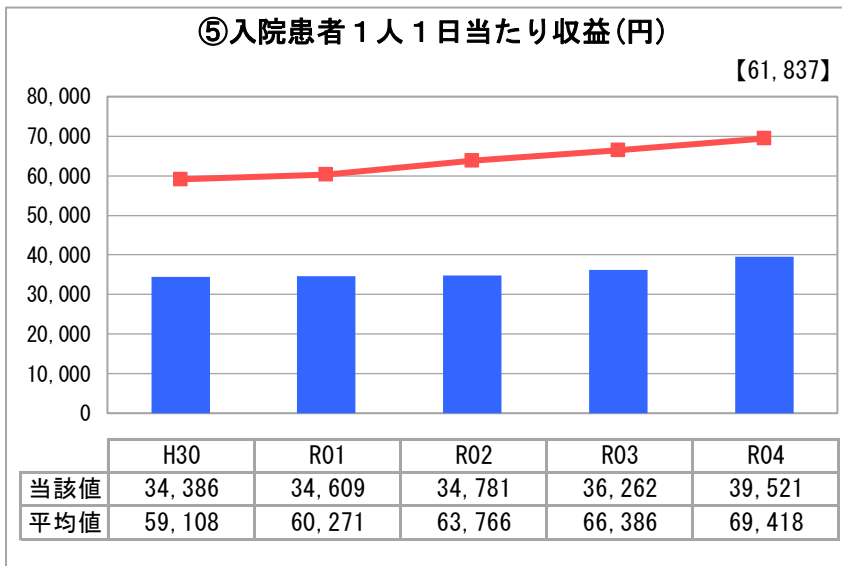
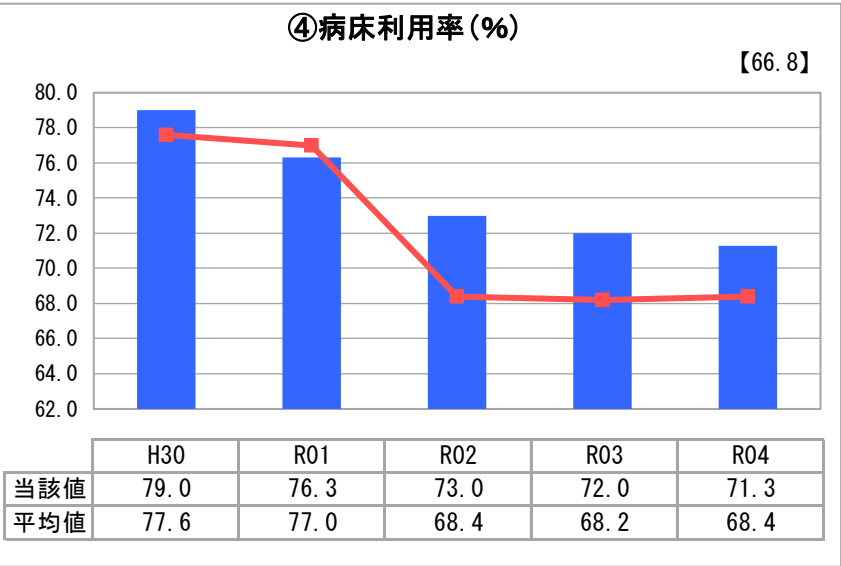
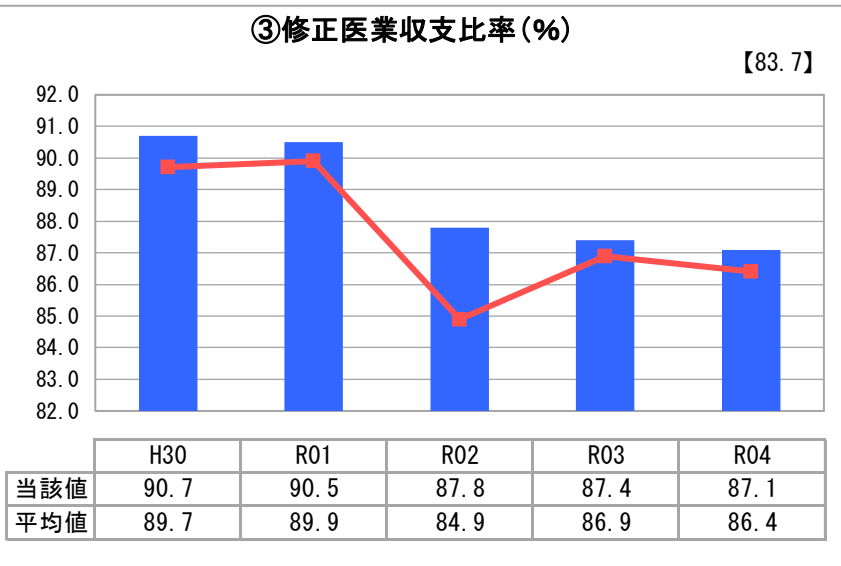
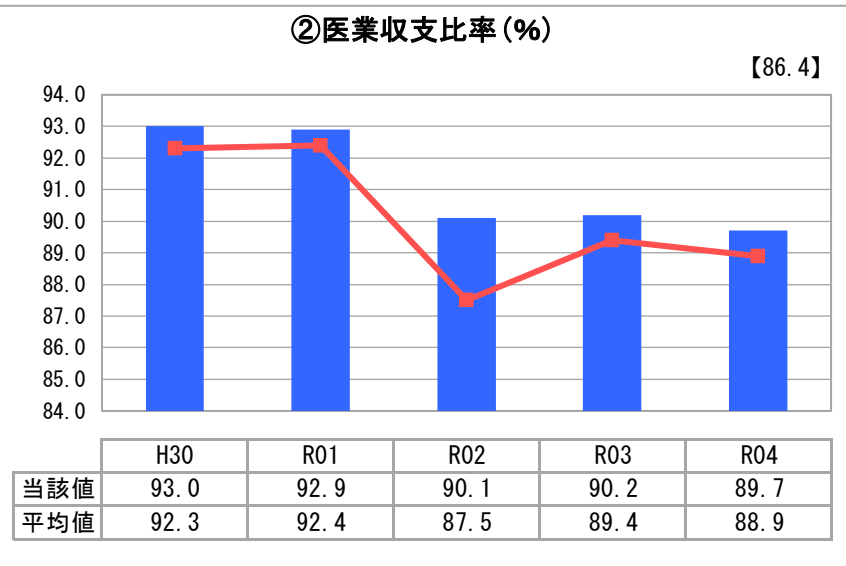
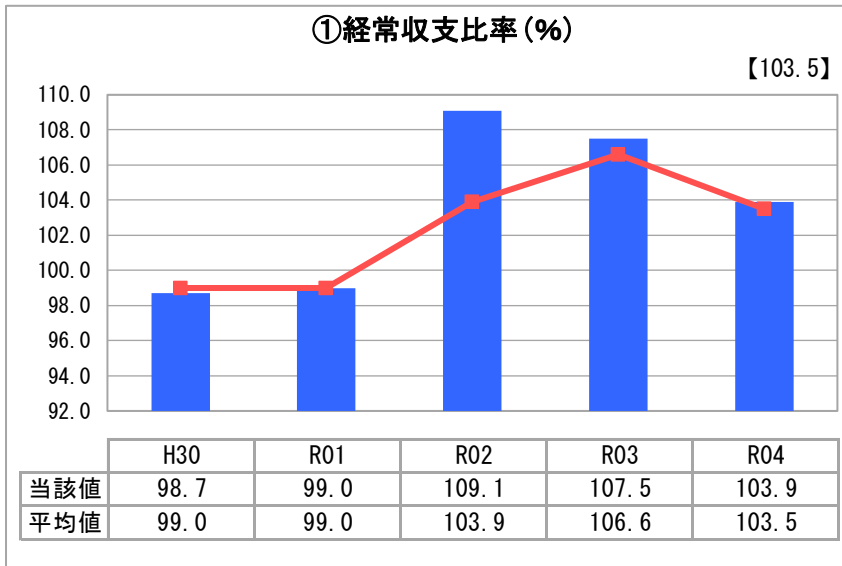
2. 老朽化の状況について

令和2年度から補助金による高額医療機器の更新が続き、器械備品減価償却率【②】は改善したが、建物、設備については、現状維持の状況（有形固定資産減価償却率【①】）であり、修繕対応により長寿命化をはかっている。

全体総括

「経営強化プラン」の策定に着手し、持続可能な地域医療提供体制確保に向けて、限りある医療資源を有効に活用し、地域での役割、機能を果たすため、経営改善に努める。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。